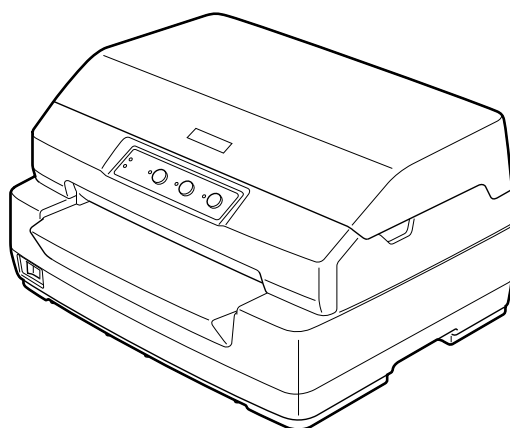
PLQ-20S

取扱説明書

セットアップと使い方の概要編

- プリンタを使用可能な状態にするための準備作業と基本操作を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

©2013 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.

2013 年 3 月発行
Printed in XXXXX

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

！注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 8 Operating System 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP/Vista/7/8」のように Windows の表記を省略することがあります。

商標

- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

ご使用の前に

本製品を安全にお使いいただくための情報と、本製品の部品名称一覧を記載しています。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。
本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

本製品の取扱説明書では、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
分解禁止を示しています。	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
製品が水に濡れることの禁止を示しています。	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
アース接続して使用することを示しています。	特定の場所に触れることの禁止を示しています。

設置に関するご注意

⚠警告
本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。 布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

⚠注意	
油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。** 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。	**本製品の組み立て作業（開梱、付属品の取り付けなど）は、梱包箱、梱包材、同梱品を作業場所の外に片付けてから行ってください。** 滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。

本製品は次のような場所に設置してください。

- 水平で安定した場所
- 風通しの良い場所
- 気温（10 ～ 32 ℃）と湿度（15 ～ 85%）の場所

本製品は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- ホコリや塵の多い場所
- 温度変化や湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 震動のある場所
- 加湿器に近い場所
- テレビ・ラジオに近い場所

!注意 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

- 本製品を「プリンタ底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ本体より広く平らな面の上にプリンタを設置してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本製品の外形寸法は次の通りです（小数点以下四捨五入）。

電源に関するご注意

⚠警告

AC100V以外の電源は使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。
また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。
電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めた物
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店へご相談ください。

次のような場所にアース線を接続しないでください。
- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災になるおそれがあります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
感電・火災のおそれがあります。

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードをほかの機器に使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り扱い上のご注意

⚠警告	
アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。**
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は本書裏表紙をご覧ください。	**異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。
お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。	**可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。** 引火による火災のおそれがあります。
開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。** 感電や火傷のおそれがあります。
各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続したほかの機器にも損傷を与えるおそれがあります。	

⚠注意	
本製品の上に乗ったり、重い物を置かないでください。 特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。	**使用中または使用直後に、プリンタカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。** 高温になっているため、火傷のおそれがあります。
各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。	**本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。** コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。
印刷用紙の端を手でこすらないでください。 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。	**電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。** 指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

⚠注意	
リボンカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。	**インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。** • 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 • 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。 • 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。

さらに以下の点も注意してください。

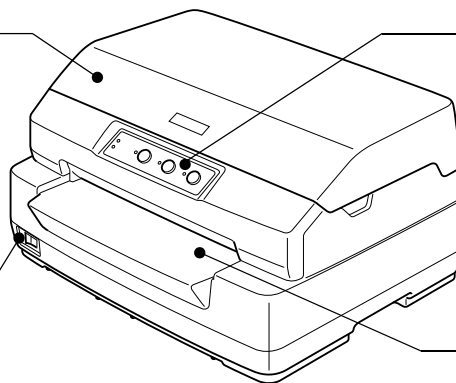
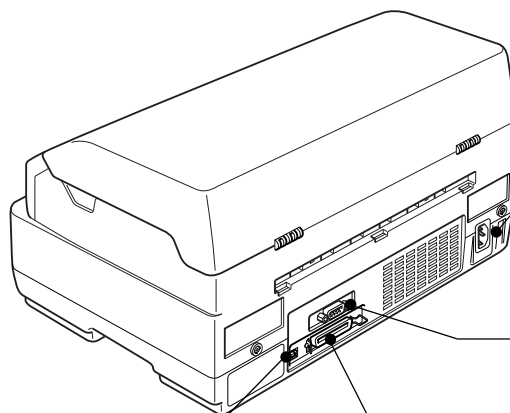
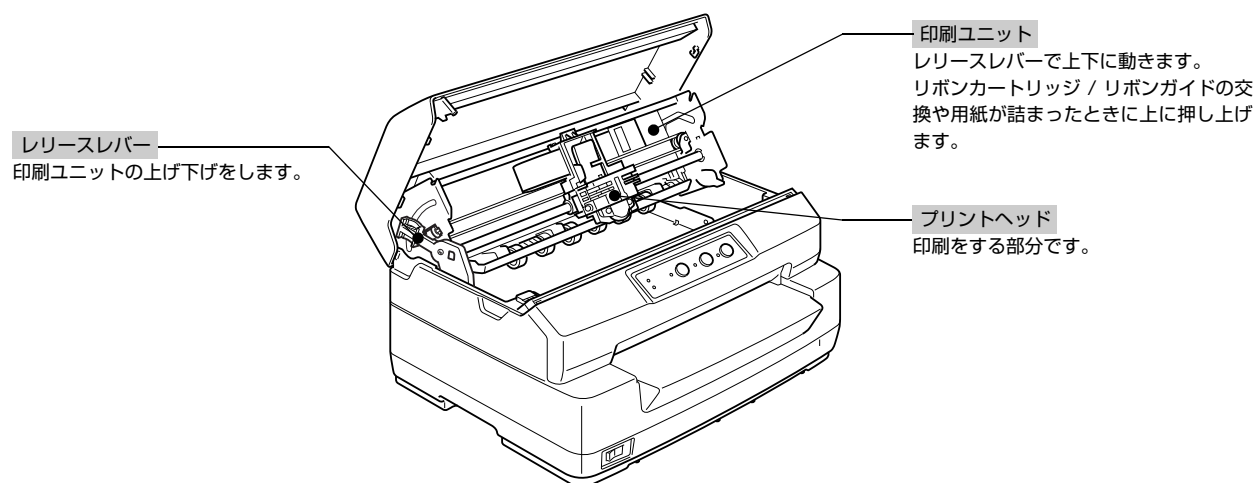
- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源を切らないでください。
- リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。
- 単票複写紙への印刷時、プリンタ内部を通過するときのローラ痕が写ることがあります。事前に必ずご確認ください。

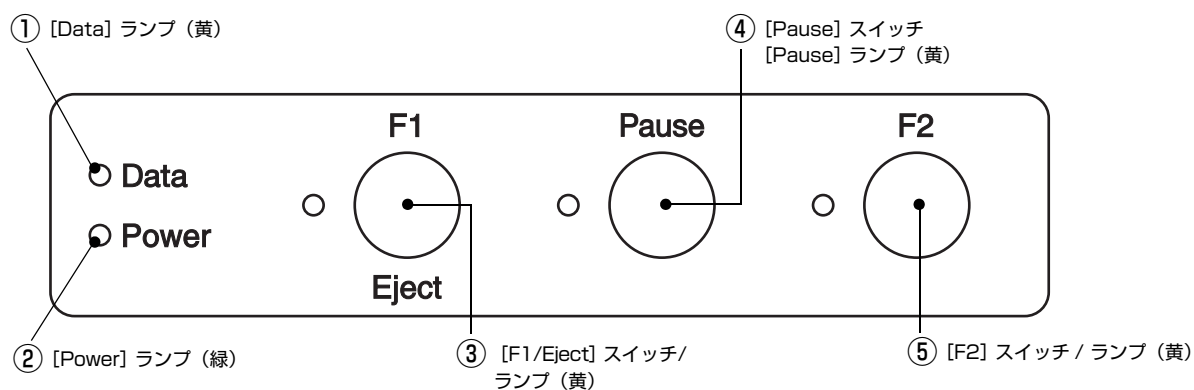
本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

各部の名称と役割

正面

背面

内部

操作パネル

操作パネル上のランプでプリンタの状態がわかります。スイッチ操作で各種機能の設定や実行ができます。

①[Data] ランプ(黄)

- 印刷データがバッファにあるとき、または印刷中の場合に点灯します。
- 印刷動作中にエラーが発生すると点滅します。

②[Power] ランプ(緑)

- 電源オン状態で点灯します。

③ [F1/Eject] スイッチ / ランプ(黄)

- 排紙します。
- プリンタを初期設定モードにすると、メニュー選択スイッチになります。このスイッチを押すと次のメニューを選択できます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」

④[Pause] スイッチ

- プリンタの一旦停止と印刷開始を切り替えます。
- プリンタを初期設定モードにすると、メニュー選択スイッチになります。このスイッチを押すと前のメニューを選択できます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」

[Pause] ランプ（黄）

- 印刷動作が一旦停止しているときに点灯します。

⑤[F2] スイッチ / ランプ（黄）

- プリンタを初期設定モードにすると、設定変更スイッチになります。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」

ランプ表示によるプリンタ状態

パネルランプの状態	ブザー鳴動パターン	問題 / 対処方法
● Power ☼ Data ● Pause	•••	フロントスロットに用紙がセットされていません。
		フロントスロットに用紙をセットします。
	•••	用紙が正しくセットされていません。
		用紙を取り除き、正しくセットし直します。39 ページの「給紙と排紙」を参照してください。
	•••	完全に排紙されていません。
		[F1/Eject] スイッチを押して排紙します。
	•••	用紙が詰まっています。
		本書 39 ページ「用紙が詰まったときは」を参照して、詰まった用紙を取り除きます。
● Power ● Pause	•••	プリンタカバーが開いています。
		操作を中止してプリンタカバーを閉じます。
● Power ☼ Pause	ー	プリントヘッドが許容範囲を超えた高温になっています。
		ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開します。しばらくそのままでお待ちください。
☼ Power ☼ Data ☼ F1/Eject ☼ Pause ☼ F2	•••••	不明なプリンタエラーが発生しました。
		プリンタの電源を切って数分放置後、再度プリンタの電源を入れてください。それでもエラーが発生するときは、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

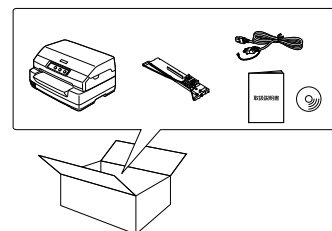
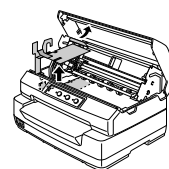
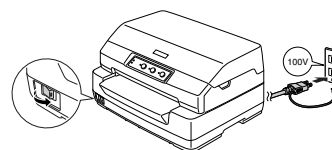
● ＝点灯、☼ ＝点滅
••• ＝短い断続音（ピッピッピッ）、••••• ＝長い断続音（ピーピーピーピーピー）

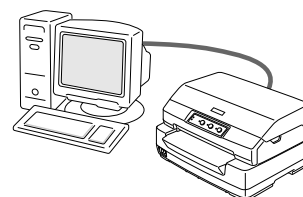
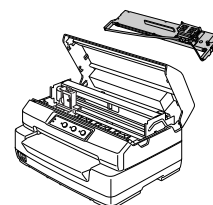
プリンタのセットアップ

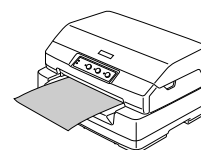
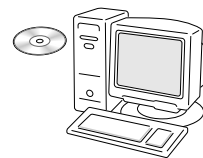
プリンタを箱から取り出し、プリンタが使用できるようにセットアップします。

セットアップの流れ

セットアップは以下の手順で行います。

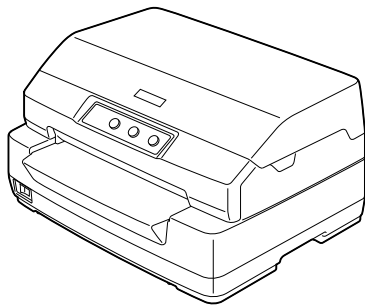
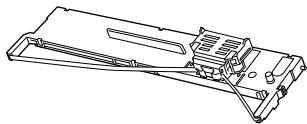
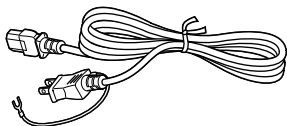
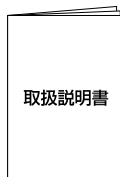
1 同梱物の確認 ☞15 ページ

2 保護材の取り外し ☞15 ページ

3 電源接続 ☞16 ページ

4 コンピュータとの接続 ☞16 ページ

お手持ちのケーブルでプリンタとコンピュータを接続します。

5 リボンカートリッジの取り付け ☞17 ページ

6 動作確認 ☞19 ページ

プリンタが問題なく使用できるかどうかを確認します。

7	プリンタドライバのインストール ☞20 ページ Windows で使用するには、同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されているプリンタドライバやユーティリティソフトなどをコンピュータにインストールする必要があります。

1. 同梱物の確認

次のものが揃っていること、それぞれに損傷のないことを確認してください。

不足品や損傷しているものがございましたら、お買い求めいただいた販売店へご連絡ください。

❏ プリンタ本体

❏ リボンカートリッジ

❏ 電源コード

❏ PLQ-20S 取扱説明書
　セットアップと使い方の概要編（本書）

❏ EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM

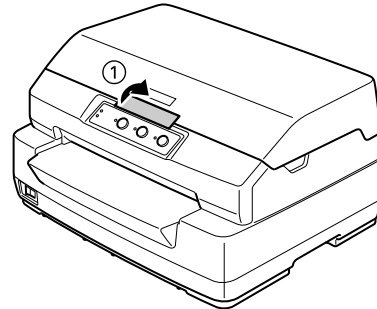
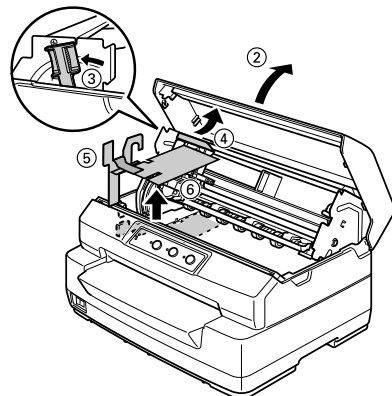
- プリンタドライバ
- EPSON ステータスモニタ 3
- PLQ-20S 取扱説明書 詳細編（PDF マニュアル）

上記同梱品のほかに、各種ご案内が同梱されている場合がありますので、ご了承ください。

2. 保護材の取り外し

プリンタ輸送時の衝撃から守るために、保護材がプリンタに取り付けられています。

以下の保護材を取り外してください。

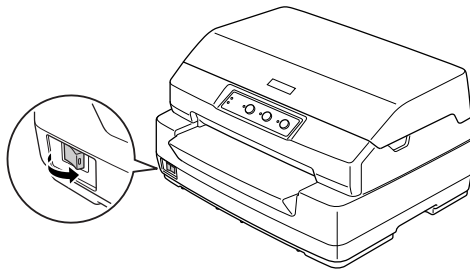
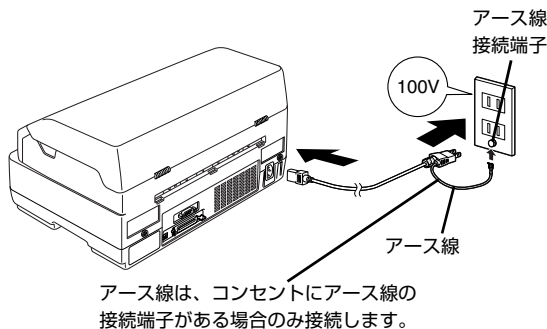
1 **①のテープをはがします。**

2 **プリンタカバーを開け（②）、レリースレバーを奥側に倒して印刷ユニットを上に押し上げます（③）。④のテープをはがし、⑤ ⑥の保護材を取り外します。**

！注 意

- 梱包箱、梱包材、保護材などは、プリンタの再輸送時に必要です。大切に保管してください。
- 上記以外にも、保護材があった場合は、取り外してください。

3. 電源接続

電源コードを電源コンセントに接続します。

> ⚠注意
> 「ご使用の前に」をお読みいただき、正しく取り扱ってください。
> ☞ 本書 4 ページ「ご使用の前に」

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

2 AC100V のコンセントに電源コードのプラグを正しく差し込みます。

> 参考
> 漏電による事故防止について
> 本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接地端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店へご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

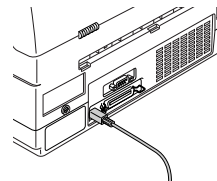
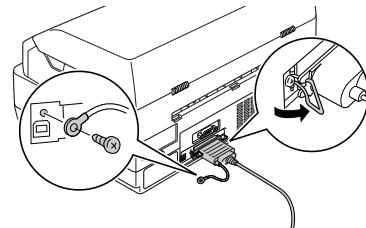
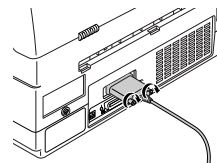
4. コンピュータとの接続

プリンタをコンピュータに接続します。USB、パラレル、シリアルのいずれかのインターフェイスケーブルを用意してください。

> 参考
> お使いのコンピュータや接続環境によって使用するケーブルが異なるため、同梱されていません。別途ご用意ください。

1 プリンタとコンピュータの電源スイッチが切れていることを確認します。

2 インターフェイスケーブルをプリンタ背面のコネクタに接続します。

・USB インターフェイスケーブル（型番 USBCB2）

・パラレルインターフェイスケーブル（型番 PRCB4N）

・シリアルインターフェイスケーブル

> 参考
> - DOS/V 機との接続には、市販の D-Sub9-9 クロスケーブルをお使いください。
> - シリアルインターフェイスケーブルを接続するには、プリンタ側の設定を確認・変更する必要があります。
>   ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」

3 もう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。

以上でコンピュータとの接続は終了です。コンピュータ側の接続については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

参考

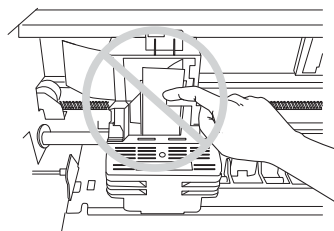
Windows の標準ネットワーク環境でプリンタを共有する場合は、本製品の標準インターフェイスをご利用いただけます。プリンタ共有については、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書 詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタの共有」

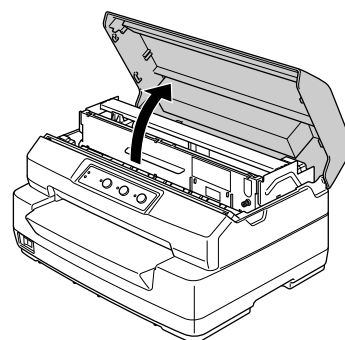
5. リボンカートリッジの取り付け

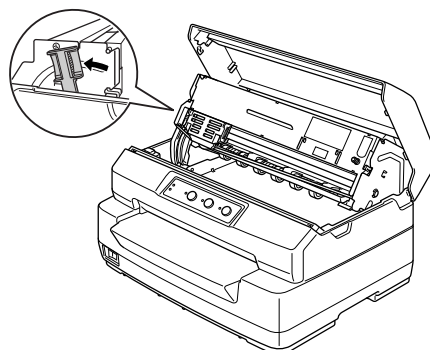
同梱されているリボンカートリッジをプリンタに取り付けます。リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因となりますので、ていねいに扱ってください。

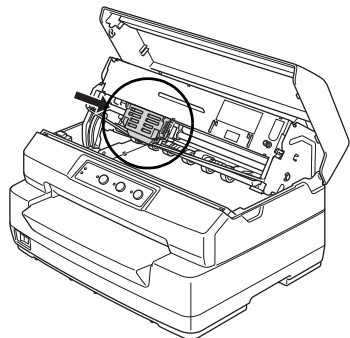
!注意

リボンカートリッジ取り付け時は、プリンタ内部の白いケーブルに触れないでください。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

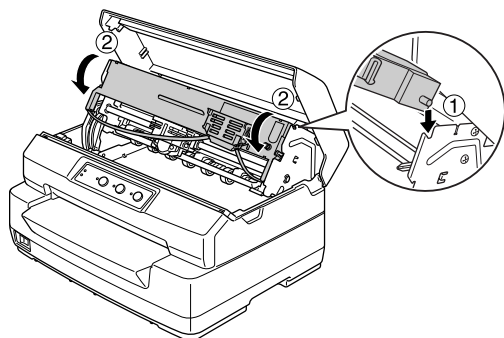
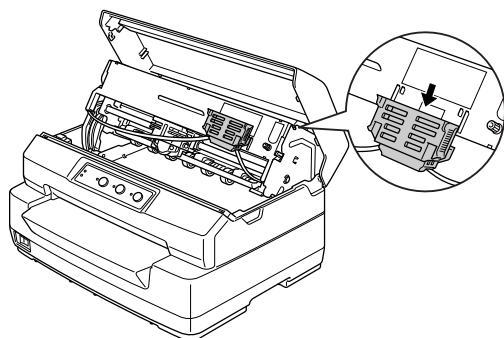
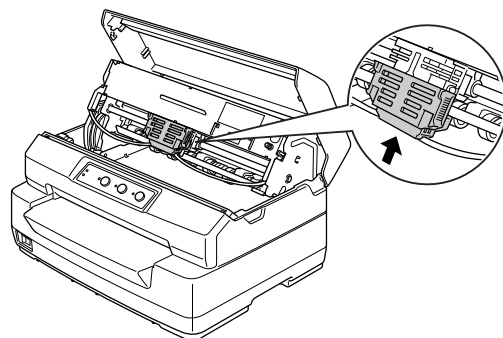
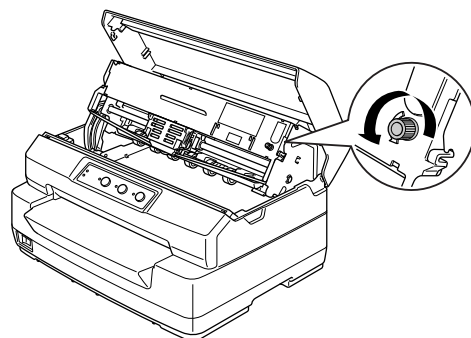
2 **プリンタカバーを開けます。**

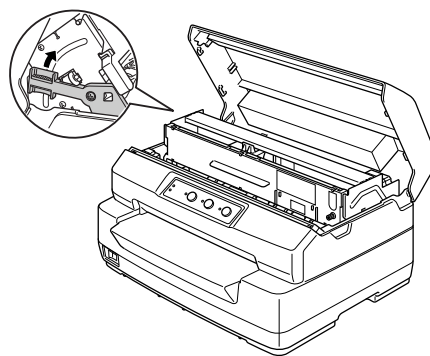
プリンタカバーの両端を持って、開けます。

3 **レリースレバーを奥側に倒して、印刷ユニットを上に押し上げます。**

レリースレバーは、カチッと音がするまで倒してください。

4 **プリントヘッドが図のような位置にあることを確認します。**

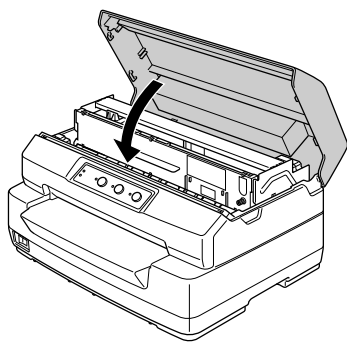
図の位置にない場合は、レリースレバーを手前側に倒して印刷ユニットを元の位置に戻し、プリンタカバーを閉じてから電源を入れてください。プリンタカバーを開けると、プリントヘッドが自動的に移動します。

5 **リボンカートリッジを袋から出します。**

6 **リボンカートリッジの突起をプリンタ両側の溝に合わせ、固定されるまで押し込みます。**

カートリッジの両端を軽く押して、傾きやがたつきのないことを確認してください。

7 **リボンガイドの両側を持ち、下側に引き抜いて、リボンカートリッジから取り外します。**

8 **リボンガイドをプリントヘッドの下側から、カチッと音がするまで押し上げます。**

9 **リボンカートリッジのツマミを回して、リボンのたるみを取ります。**

リボンのたるみを取り、リボンが自由に動くこと、リボンにねじれや折れがないことを確認してください。

10 **レリースレバーを手前に倒して、印刷ユニットを元の位置に戻します。**

!注意

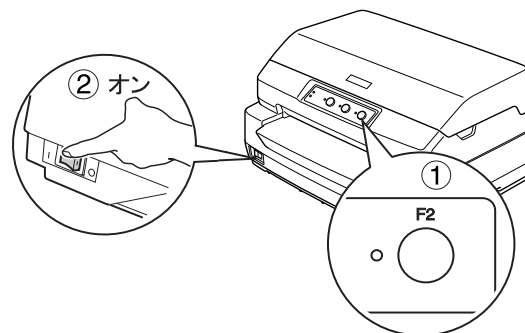
- 印刷ユニットは、直接手で引っ張らずに、必ずレリースレバーで操作してください。
- レリースレバーはカチッと音がするまで確実に倒してください。確実に倒さないとプリンタカバーを閉じることができません。

11 **プリンタカバーを閉じます。**

続いてプリンタの動作を確認します。

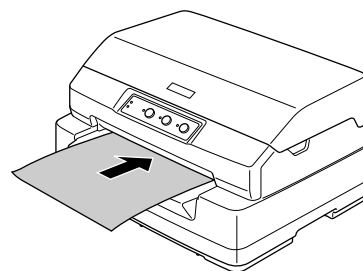
6. 動作確認

プリンタが正常に動作するかどうかをプリンタ内蔵の印字パターンを印刷して確認します。A4 サイズの単票紙を用意してください。

1 **[F2] スイッチを押したまま電源を入れます。**

[Power] ランプ以外のすべてのランプが消え、「ピッ」という短いブザー音がしたらスイッチから指を離してください。

2 **[F1/Eject]、[Pause]、および [F2] ランプの点滅中に [F1/Eject] および [F2] スイッチを同時に押します。**

3 **[Data] ランプが点滅し、[Pause] ランプが点灯したら、フロントスロットに A4 用紙を挿入します。**

単票紙の先端が突き当たるまで差し込むと、自動的に給紙して印字パターンを印刷し始めます。

4 **以下のような印字パターンを繰り返し印刷します。**

続けて印刷するときは、印刷が終了したら次の用紙をセットします。自動的に給紙して印字パターンの続きを印刷します。

＜印刷結果例＞

```
Roman
   !"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[\]
  !"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[\]^
  "#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[\]^_
                                 ・
                                 ・
                                 ・
                                 ・
                                 ・
```

5 **［Pause］スイッチを押して印刷を終了させてから、プリンタの電源を切ります。**

［Pause］スイッチが押されるまで印刷は繰り返して行われます。プリンタに用紙が残っているときは、［F1/Eject］スイッチを押して用紙を排紙してから電源を切ってください。

6 **印刷結果を確認します。**

4 の印刷結果のように印刷されていればプリンタは正常に動作しています。

手順通りに実行しても印刷できない、プリンタが動作しない、などのトラブルが発生したときは「取扱説明書　詳細編」（PDF マニュアル）を参照して解決してください。

本書 44 ページ「PDF マニュアルの紹介と使い方」

Windows 環境でお使いの場合は、続いてプリンタドライバなどをインストールします。

7. プリンタドライバのインストール

Windows プリンタドライバやプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタ 3）などをインストールします。

プリンタドライバの動作条件

対象 OS	Windows 2000/XP/Vista/7/8
空きハードディスク	50MB 以上

EPSON ステータスモニタ 3 の動作条件

対象 OS	Windows 2000/XP/Vista/7/8
監視可能なプリンタの接続形態	• パラレルおよびUSB接続でのローカルプリンタ • Windows 共有プリンタ

参考

- EPSON ステータスモニタ 3 は、プリンタの状態を監視して、エラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティです。プリンタドライバのインストール後、続けてインストールできます。
  EPSON ステータスモニタ 3 で監視できるプリンタの接続形態は以下です。
  - パラレル /USB 接続でのローカルプリンタ
  - Windows 共有プリンタ

  双方向通信をサポートしていないコンピュータでは使用できません。
- Windows　プリンタドライバを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタドライバや EPSON ステータスモニタ 3 をインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタドライバや EPSON ステータスモニタ 3 をインストールしないでください。
- プリンタドライバの名称は［PLQ-20］と表示されますが、PLQ-20S でも使用できます。

1 プリンタの電源を切ります。

指示があるまでプリンタの電源を入れないでください。

2 Windows を起動します。

管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログインしてください。

参考

以下のような画面が表示されたときは［キャンセル］をクリックしてください。

3 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

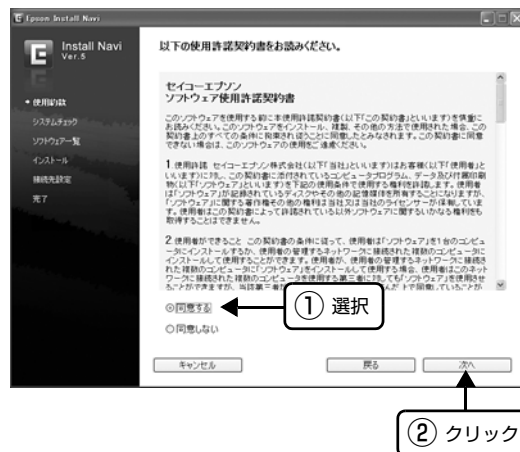
4 ［簡単インストール］をクリックします。

参考

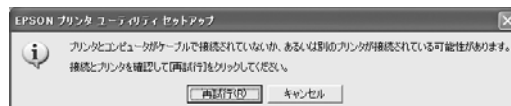
上記の画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］-［CD-ROM］-［Epsetup.exe］をダブルクリックしてください。

5 以下の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］を選択し、［次へ］をクリックします。

ソフトウェアのインストールが始まります。

［同意しない］をクリックした場合は、［キャンセル］をクリックしてインストールを終了させます。

6 しばらくすると、以下の画面が表示されます。プリンタの電源を入れてください。

プリンタの接続先を設定します。

6 の画面表示後、約３分経過してもプリンタの接続が確認できない、あるいは印刷先のポートが認識できないと、以下のような画面が表示されます。

プリンタの電源が入っているか、推奨ケーブルが正しく接続されているかを確認して、［再試行］をクリックし、［手動設定］から接続しているポートを選択してください。

7 以下のような画面が表示されたら［終了］をクリックします。

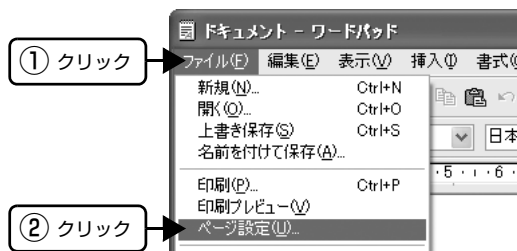
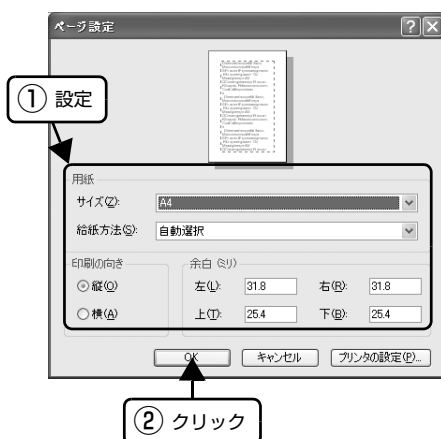
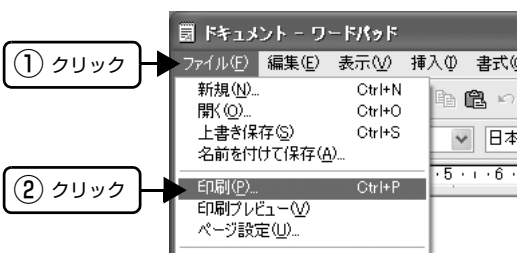
8 ［終了］をクリックします。

以上で終了です。

Windows からの印刷

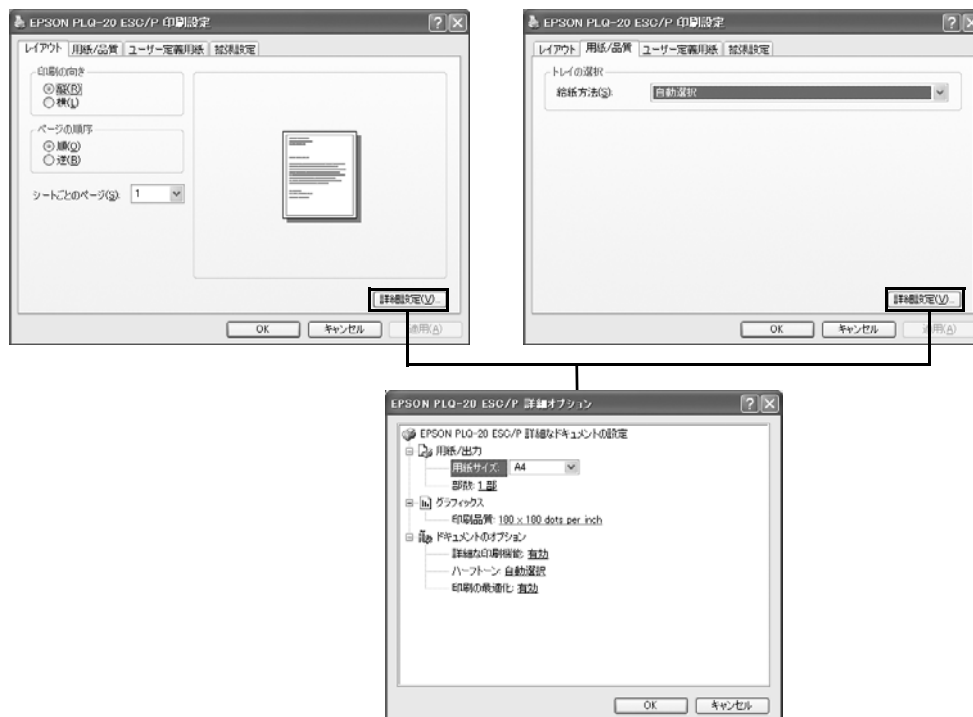
印刷手順

印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、ここでは基本的な印刷手順を説明します。
用紙のセットは、39 ページをご覧ください。

1 アプリケーションソフトを起動して、［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

2 用紙のサイズや余白、印刷の向きなどを設定して［OK］をクリックします。

3 データを作成したら、［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

4 出力したいプリンタが選択されていることを確認して［詳細設定］（または［プロパティ］）をクリックします。

5 各項目を設定して［OK］をクリックします。

表示される画面はご利用の環境によって異なります。

本書 27 ページ「設定項目」

> **参考** ［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと合わせます。

6 ［印刷］をクリックします。

印刷データがプリンタに送られ、印刷が始まります。

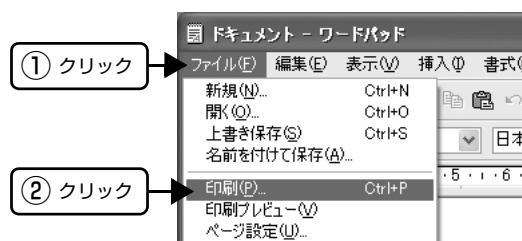
以上で終了です。

プリンタドライバの設定

印刷に関する各種設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」の場合を説明します。

1 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから［印刷］をクリックして［印刷］画面を表示させます。

2 ［プリンタの選択］で本製品を選択して［詳細設定］(Windows XP/Vista/7/8) または［プロパティ］(Windows 2000) をクリックします。

> **参考**
> Windows 2000 の「ワードパッド」のように、［印刷］画面内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

［スタート］メニューから開く

Windows の［スタート］メニュー（Windows 2000/XP/Vista/7）または［スタート］画面（Windows 8）からプリンタドライバ のプロパティを開きます。ここでの設定はアプリケーションソフトから開いた設定画面の初期値になりますので、よ く使う値を設定しておくと便利です。

ここでは、代表的な方法を説明します。

1 Windows の［スタート］メニュー/［スタート］画面から［プリンタと FAX］/［プリンタ］/［デバイスとプリンタ］を開きます。

Windows 8:
［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンタの表示］をクリックします。

Windows 7:
［スタート］-［デバイスとプリンタ］の順にクリックします。

Windows Vista:
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP Professional:
［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

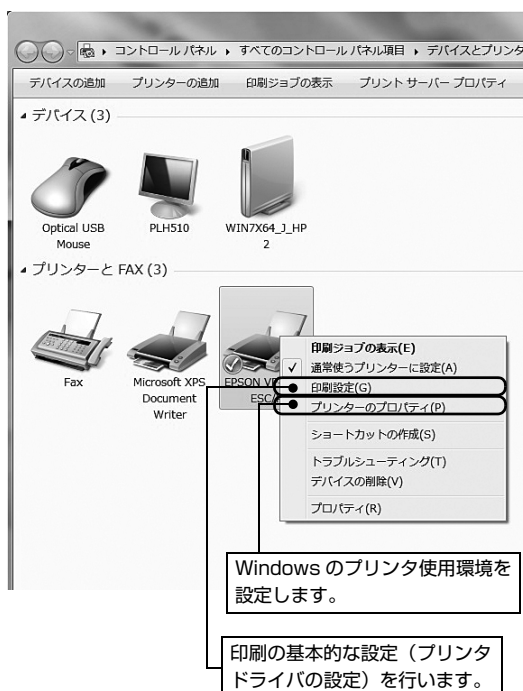
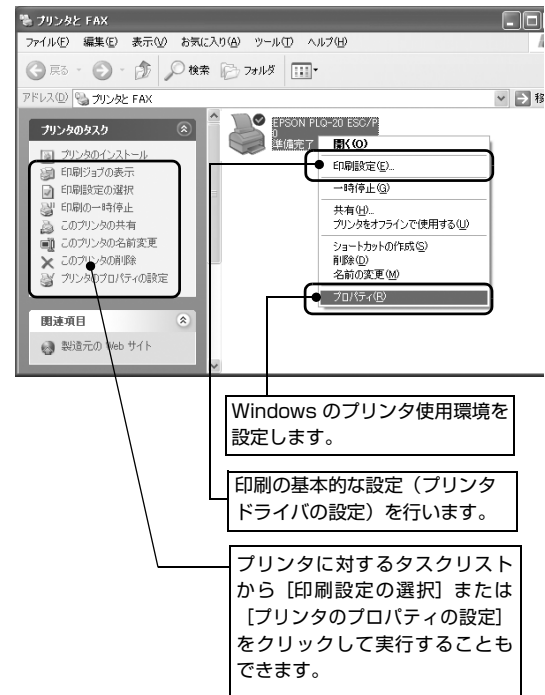
Windows XP Home Edition:
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows 2000:
［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **本製品のアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［印刷設定］または［プロパティ］/［プリンタのプロパティ］をクリックします。**

［印刷設定］または［プロパティ］/［プリンタのプロパティ］で設定できる機能は、お使いのOSによって異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

Windows 8:

Windows 7:

Windows Vista/XP/2000:

参考

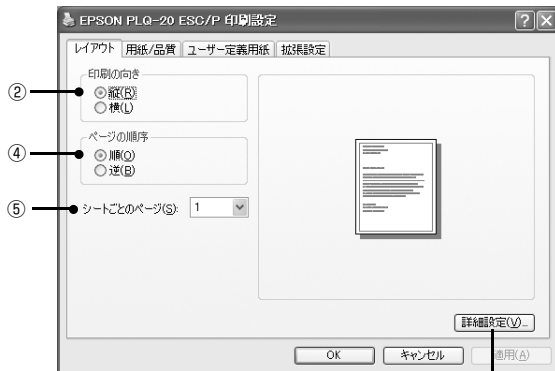
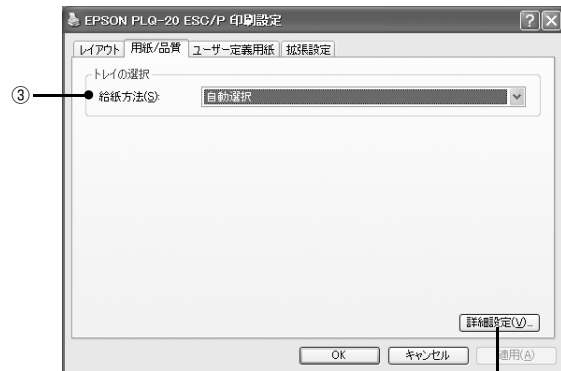
- ［プロパティ］/［プリンタのプロパティ］を設定するには、標準ユーザー（Power Users）以上の権限が必要です。
- ［印刷設定］を変更するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。

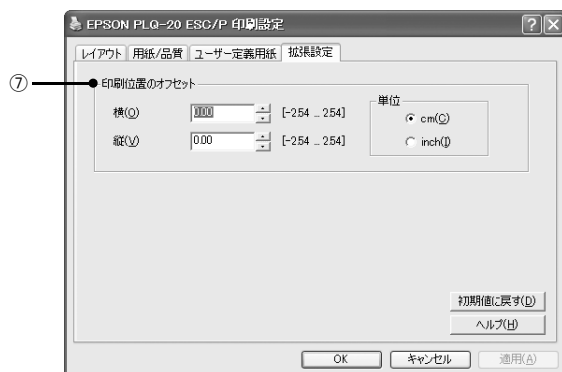
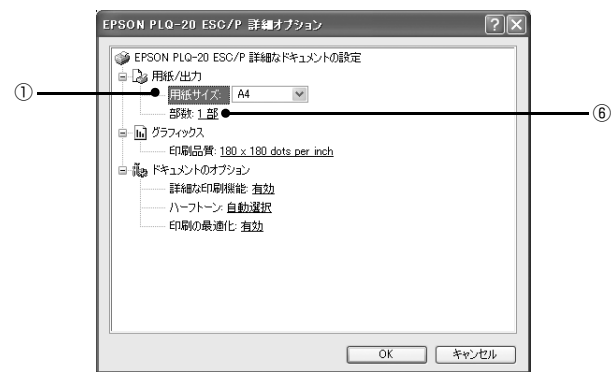
設定項目

印刷を実行する前に、用紙サイズや給紙方法などのプリンタ固有の機能をプリンタドライバの［印刷設定］画面で設定します。

用紙サイズと給紙方法

各項目の説明は次ページ以降を参照してください。

［レイアウト］画面

［用紙 / 品質］画面

クリックして表示します

［拡張設定］画面

［詳細オプション］画面

① 用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。作成した文書サイズとプリンタドライバ上の用紙サイズは、必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷されることがあります。

［用紙サイズ］リストにないサイズは、ユーザー定義サイズとして登録できます。

☞ 本書 30 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

② 印刷の向き

印刷する方向を縦・横のどちらかをクリックして選択します。

使用するアプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフトの設定が優先されます。

③ 給紙方法

用紙の給紙方法（装置）を選択します。給紙方法一覧から、選択する給紙方法をクリックします。

手差し	単票紙をプリンタのフロントスロットから手差し給紙するときに選択します。
自動選択	［プリンタ］フォルダでのプリンタドライバで設定されている給紙方法に従います。

④ ページの順序

印刷するページの順序を選択します。

順	最初のページから順番に印刷します。
逆	最後のページから順番に印刷します。

⑤ シートごとのページ

1 枚の用紙に何ページ分を印刷するかを指定します。たとえば、1 を指定すると 1 枚の用紙に 1 ページが印刷され、2 を指定すると 1 枚の用紙に 2 ページ分が並べて印刷されます。

Windows Vista/7/8 では、［境界線を引く］をチェックすると、ページとページの間に境界線を印刷できます。

⑥ 部数

印刷する部数を指定します。2 部以上印刷するときは、部単位で印刷するかどうかを指定できます。部単位で印刷する場合は、1 部ごとに連続したページが印刷されます。部単位で印刷しない場合は、ページごとに部数分ずつ印刷されます。

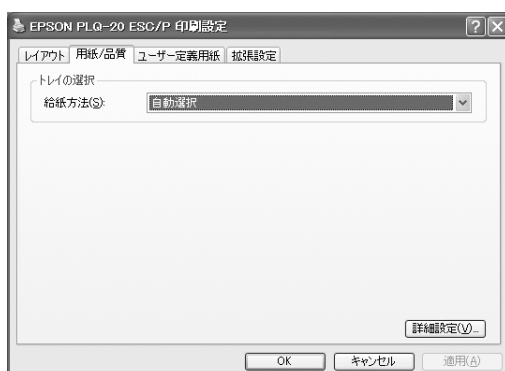
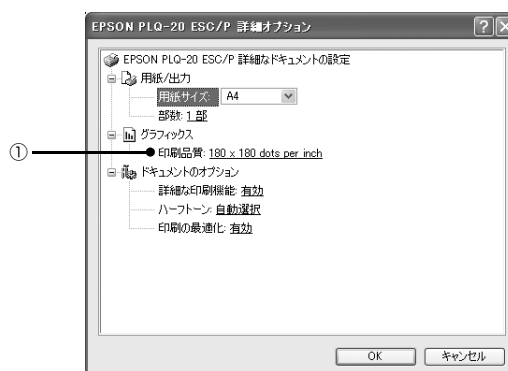
⑦ 印刷位置のオフセット

印刷開始位置を設定します。通常は、お使いのアプリケーションソフトのマージン設定（余白の設定）で調整してください。アプリケーションソフトで設定できないときなどはこの機能をお使いください。

横	横方向の印刷開始位置を指定します。マイナス値は左方向、プラス値は右方向にオフセットします。 設定可能範囲は -2.54cm（-1.00inch）から 2.54cm（1.00inch）です。
縦	縦方向の印刷開始位置を指定します。マイナス値は上方向、プラス値は下方向にオフセットします。 設定可能範囲は -2.54cm（-1.00inch）から 2.54cm（1.00inch）です。
単位	上記の入力値の単位を cm または inch のどちらかに選択できます。

入力値をプリンタドライバをインストールした直後の状態に戻すときは［初期値に戻す］をクリックします。

グラフィックスと印刷品質

［用紙 / 品質］画面

［詳細オプション］画面

① 印刷品質

グラフィックイメージの出力解像度（細かさ）を選択します。

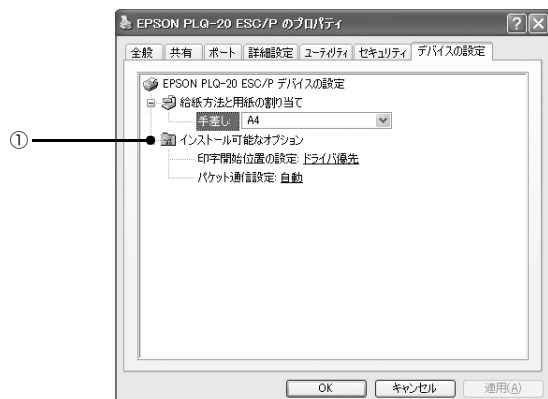
解像度は、水平解像度×垂直解像度で示しています。解像度は dpi* で表し、数字が大きくなるほど解像度は高くなります。

一般に解像度が高い方が高品質のグラフィックを印刷できますが、印刷時間は長くなります。

* dpi（Dot Per Inch）：1 インチ当たりのドット数

インストール可能なオプション

すべての印刷に共通な設定は、次の［プロパティ］/［プリンタのプロパティ］画面で行います。お使いの OS によって画面イメージは異なりますが、同じ機能です。

［デバイスの設定］画面

① インストール可能なオプション

すべての印刷に共通な各種設定ができます。

印字開始位置の設定	ドライバ優先	それぞれの用紙ごとにプリンタドライバで設定されている位置から印刷します。プリンタの操作パネルから設定した印字開始位置は無効になります。 通常はこの設定で使用します。
	プリンタ優先	プリンタの操作パネルで設定した位置から印刷します。プリンタドライバで設定されている印字開始位置は無効になります。 プリンタの設定値で印刷したいときに選択します。
パケット通信設定	自動	プリンタのパケット通信設定が［自動］のときに選択します。
	オフ	プリンタのパケット通信設定が［オフ］のときに選択します。

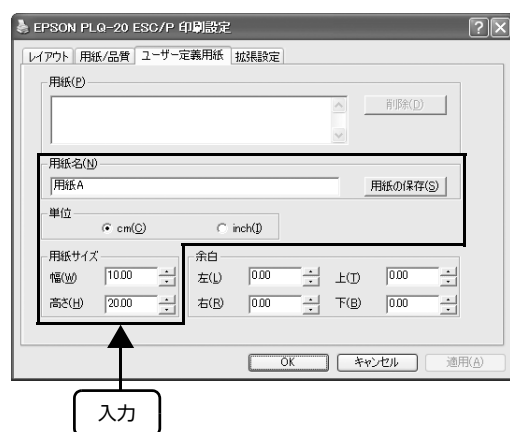
［パケット通信設定］は、通常、変更する必要はありません。プリンタのパケット通信設定を変更したときのみ、その設定と合わせてください。設定が異なると、正常に印刷されないことがあります。

任意の用紙サイズを登録するには

[用紙サイズ] リストにない用紙サイズを、[ユーザー定義サイズ] として追加できます。

使用頻度の高い用紙サイズはあらかじめ定義されています。ユーザー定義サイズとして用紙登録する前に、適合する用紙サイズがないことをご確認ください。

1 プリンタドライバの［ユーザー定義用紙］画面で用紙情報を入力します。

用紙名	登録したい用紙の名称を入力します。31 文字まで入力できます。 プリンタドライバにあらかじめ登録されている用紙名やすでにユーザー定義用紙として登録済みの用紙名は登録できません。
単位	[用紙サイズ]、[余白] の値の単位を選択します。
用紙サイズ	[用紙] の表示欄で選択されている用紙の大きさが表示されます。新しく登録したい用紙の大きさを設定します。 入力できる範囲は 2.54cm(1.00inch) から、本製品で印刷できる最大用紙サイズまでです。
余白	[用紙] の表示欄で選択されている用紙の余白が表示されます。新しく登録したい用紙の余白を設定します。 [右余白] と [左余白] の合計が用紙の幅未満になるように設定します。 [上余白] と [下余白] の合計が用紙の高さ未満になるように設定します。

2 ［用紙の保存］をクリックします。

3 ［OK］をクリックします。

任意の用紙サイズが登録され、以降は［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

下記の手順でもユーザー定義サイズを登録できます。

1 Windows の［スタート］メニュー /［スタート］画面から［プリンタと FAX］/［プリンタ］/［デバイスとプリンタ］を開き、本製品のアイコンを選択してから［サーバーのプロパティ］/［プリントサーバープロパティ］をクリックします。

Windows 8:

[スタート] 画面の [デスクトップ] をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、[設定] - [コントロールパネル] の順にクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンタの表示] をクリックして開き、本製品のアイコンを選択してから [プリントサーバ プロパティ] をクリックします。

Windows 7:

[スタート] - [デバイスとプリンタ] の順にクリックし、本製品のアイコンを選択してから [プリントサーバープロパティ] を選択します。

Windows Vista:

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] の順にクリックし、プリンタアイコンが何も選択されていない状態で右クリックして [サーバーのプロパティ] を選択します。

Windows XP:

Windows XP Professional は [スタート] - [プリンタと FAX]、Windows XP Home Edition は [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] の順にクリックし、本製品のアイコンを選択してから [ファイル] メニューの [サーバーのプロパティ] を選択します。

Windows 2000:

[スタート] - [設定] - [プリンタ] の順にクリックし、本製品のアイコンを選択してから [ファイル] メニューの [サーバーのプロパティ] を選択します。

2 ［新しい用紙を作成する］チェックボックスをチェックしてから、以下の項目を設定します。

用紙名： テキストボックスに登録する用紙の名称を入力します。ここで入力した名称がユーザー定義の用紙サイズの名称になり、プリンタドライバの［用紙サイズ］リストに表示されます。

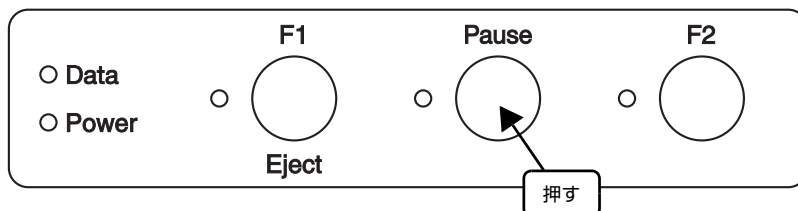
寸法： 単位と用紙サイズを設定します。

3 入力が終了したら、［OK］をクリックします。

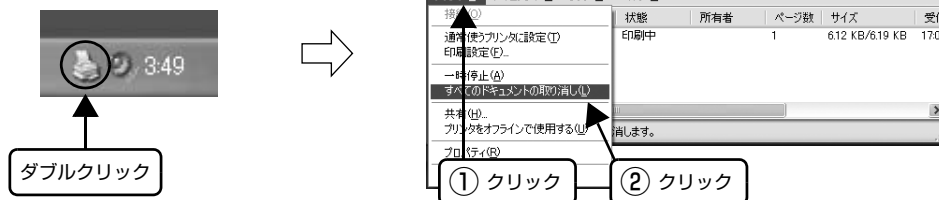
印刷の中止の仕方

印刷は以下の手順で中止できます。

1 **プリンタの［Pause］スイッチを押します。**

［Pause］ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

2 **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**

削除する印刷データをクリックして［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックして、印刷データが消えるのを待ちます。

すべての印刷を中止するときは、［プリンタ］メニューの［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックします。

3 **プリンタの電源を切ります。**

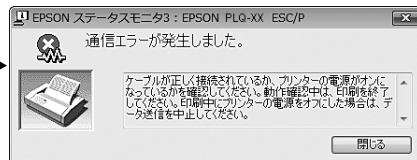
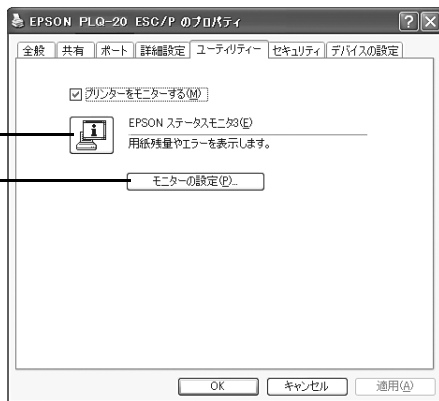
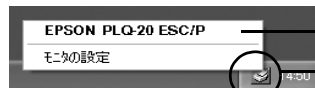
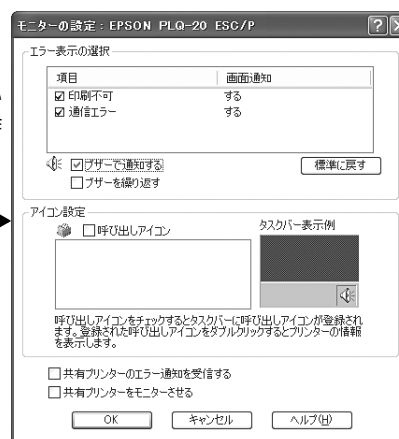
プリンタ内に残っていた未印刷のデータは消去されます。

プリンタの監視

EPSON ステータスモニタ 3 は、プリンタの状態をコンピュータ上で監視（確認）できるユーティリティです。通常は、プリンタドライバと同時にインストールされます。

プリンタの状態を表示します

［EPSON ステータスモニタ 3］画面

プリンタの状態をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

!注意　Windows XP/Vista/7/8 のリモートデスクトップ機能* を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタ 3 がインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* リモートデスクトップ機能：移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

プリンタの状態を監視するには

以下のいずれかの方法で［EPSON ステータスモニタ 3］画面を開いて、プリンタの状態を確認します。

［方法 1］

1 **Windows の［スタート］メニュー/［スタート］画面から［プリンタと FAX］/［プリンタ］/［デバイスとプリンタ］を開き、本製品のアイコンを右クリックして［プロパティ］または［プリンタのプロパティ］をクリックします。**

Windows 8：
［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンタの表示］をクリックして、本製品のアイコンを右クリックし、［プリンタのプロパティ］をクリックします。

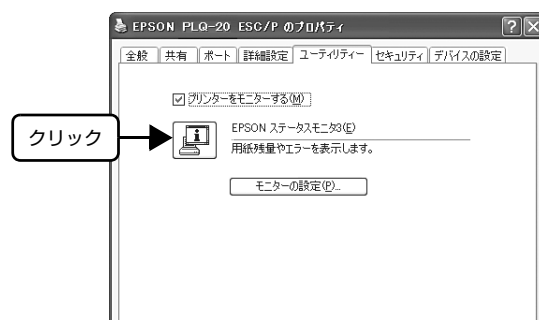
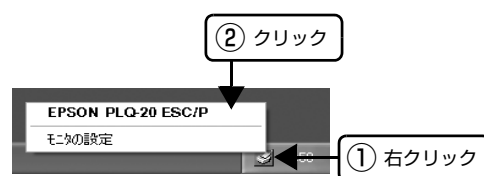
Windows 7：
［スタート］-［デバイスとプリンタ］の順にクリックし、本製品のアイコンを右クリックして［プリンタのプロパティ］をクリックします。

Windows Vista：
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックし、本製品のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

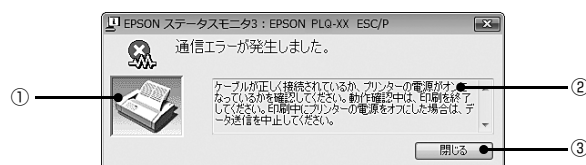
Windows XP：
Windows XP Professional は［スタート］-［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition は［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］の順にクリックし、本製品のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックし、本製品のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

2 **［ユーティリティ］タブの［EPSON ステータスモニタ 3］アイコンをクリックします。**

［方法 2］

タスクバーの EPSON ステータスモニタ 3 の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでアイコンをクリックしてプリンタ名をクリックします。

呼び出しアイコンは、呼び出しアイコンの設定をすることでタスクバーに表示されるようになります。初期設定では表示されません。
本書 35 ページ「モニタ（監視）の設定」

［EPSON ステータスモニタ 3］画面

プリンタの状態を表示します。

① プリンタ
プリンタの状態をグラフィックで表示します。

② メッセージ
プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生したときにその状況と解決策をメッセージで知らせます。

③［閉じる］
ウィンドウを閉じます。

モニタ(監視)の設定

EPSONステータスモニタ3のモニタ機能を設定します。どのような状態を画面表示するか、ブザー音通知するか、共有プリンタを監視するかなどが設定できます。
以下のいずれかの方法で［モニタの設定］画面を開いて、各項目を設定してください。

［方法 1］

1 **Windowsの［スタート］メニュー/［スタート］画面から［プリンタとFAX］/［プリンタ］/［デバイスとプリンタ］を開き、本製品のアイコンを右クリックして［プロパティ］または［プリンタのプロパティ］をクリックします。**

Windows 8：
［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンタの表示］をクリックして、本製品のアイコンを右クリックし、［プリンタのプロパティ］をクリックします。

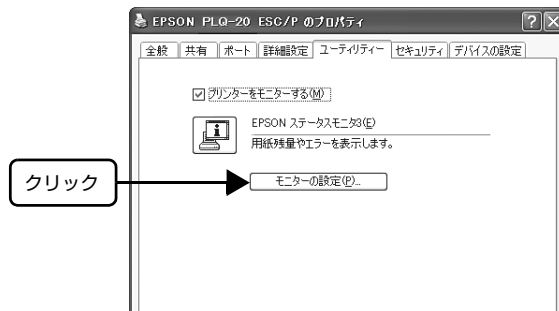
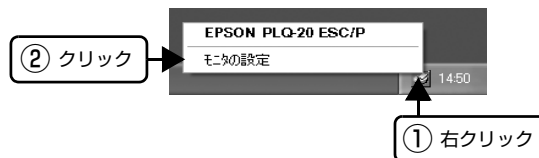
Windows 7：
［スタート］-［デバイスとプリンタ］の順にクリックし、本製品のアイコンを右クリックして［プリンタのプロパティ］をクリックします。

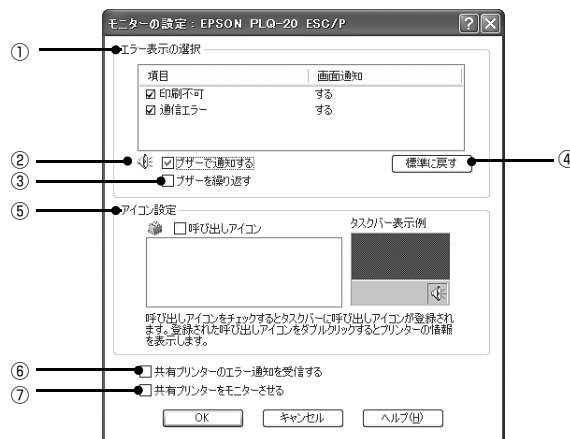
Windows Vista：
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックし、本製品のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

Windows XP：
Windows XP Professionalは［スタート］-［プリンタとFAX］、Windows XP Home Editionは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとFAX］の順にクリックし、本製品のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックし、本製品のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

2 **［ユーティリティ］タブの［モニタの設定］をクリックします。**

［方法 2］

タスクバーのEPSONステータスモニタ3の呼び出しアイコンをマウスの右ボタンでクリックして、［モニタの設定］をクリックします。

参考
呼び出しアイコンは、呼び出しアイコンの設定をすることでタスクバーに表示されるようになります。初期設定では表示されません。次項を参照して設定してください。

［モニタの設定］画面

① エラー表示の選択
どのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。チェックを付けたエラーが発生すると、ポップアップウィンドウが現れ対処方法が表示されます。

② ブザーで通知する
チェックを付けると、エラー発生時にブザー音でも通知します。

参考
お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ ブザーを繰り返す
チェックを付けると、エラー発生時にブザー音を繰り返します。

④［標準に戻す］
［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

⑤ アイコン設定
［呼び出しアイコン］をクリックしてチェックを付けると、EPSON ステータスモニタ 3 の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

> **参考**
> タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると［モニタの設定］画面および［EPSON ステータスモニタ 3］画面を開くことができます。

⑥ 共有プリンタのエラー通知を受信する
ネットワーク上のほかのコンピュータにローカル接続された共有プリンタのエラーを通知するかどうか選択できます。

⑦ 共有プリンタをモニタさせる
ローカル接続したプリンタを共有プリンタとして設定している場合に、ネットワーク上のほかのコンピュータからもプリンタの監視をさせるかどうか選択できます。
☞『取扱説明書 詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタの共有」－「クライアントの設定」

> **参考**
> - ［共有プリンタをモニタさせる］の設定は、管理者権限のあるユーザー（Administrator）で設定してください。
> - 1台のコンピュータに複数ユーザーが同時にログインしている環境で、プリンタの監視が同時に行われたとき、通信エラーメッセージが表示されることがあります。

Windows Vista/7/8 で［共有プリンタをモニタさせる］の設定を変更すると、［ユーザー制御アカウント］画面が表示されます。［続行］（Windows Vista）または［はい］（Windows 7/8）をクリックします。

給紙と排紙

本製品の給紙経路、使用できる用紙とセット方法などを説明します。

印刷できる用紙

単票紙(単票複写紙)

単票紙はフロントスロットから給紙します。以下の仕様の用紙をお使いください。

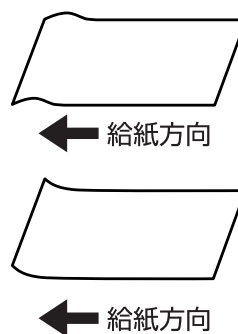
項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、普通紙、 PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙 (オリジナル +6 枚まで)
用紙幅	65 ～ 245mm (2.6 ～ 9.6 インチ)	
用紙長	67 ～ 297mm (2.64 ～ 11.69 インチ)	
用紙厚	0.065 ～ 0.19mm	0.12 ～ 0.53mm
用紙連量	45 ～ 135kg (坪量 52 ～ 157 g/m^2)	34 ～ 50kg (坪量 40 ～ 58g/m^2) (1 枚当たり)

※ 用紙連量は、四六判紙(788 × 1091mm^2)1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

使用できる定形紙とセット方向は下表の通りです。

用紙サイズ	一枚紙	複写紙
A4 (210 × 297mm)	縦長	縦長
A5 (148 × 210mm)	縦長、横長	縦長、横長
A6 (105 × 148mm)	縦長、横長	縦長、横長
B5 (182 × 257mm)	縦長	縦長

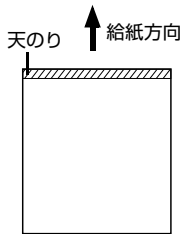
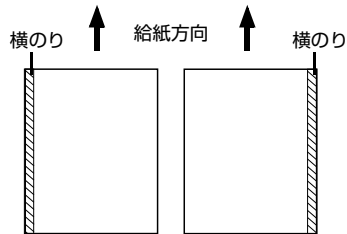
!注意

- 再生紙は一般室温環境(温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60 %)で使用してください。
- 単票複写紙は、のり付け部が波打ったり、硬くなったりしていないものを使用してください。
- 単票複写紙は、プリンタ内部を通過するときのローラの痕が写ることがあります。事前に必ずご確認ください。
- 下図のように先端に反りのある用紙を使用した場合、用紙が斜めに給紙されたり、給紙できない場合があります。給紙する前に用紙先端の反りを平らにしてください。

推奨する複写紙の組み合わせ

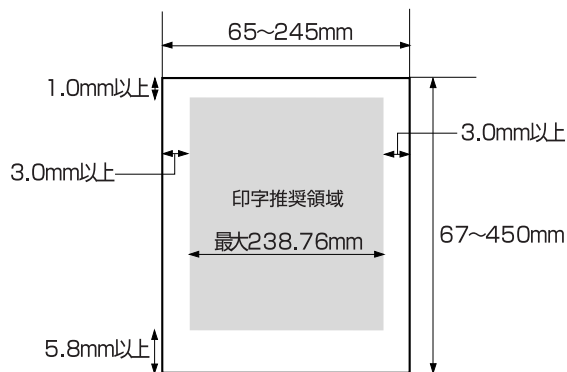
構成枚数と連量 (kg) は下表の通りです。

	2P	3P	4P	5P	6P	7P
1 枚目	50	50	43	43	43	43
2 枚目	43	34	34	34	34	34
3 枚目	–	43	34	34	34	34
4 枚目	–	–	43	34	34	34
5 枚目	–	–	–	43	34	34
6 枚目	–	–	–	–	43	34
7 枚目	–	–	–	–	–	43

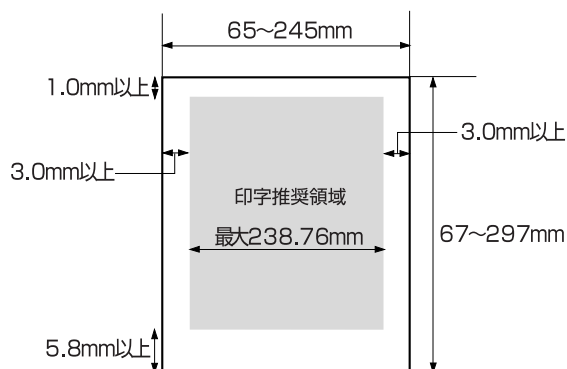
綴じ方と給紙方向

のり綴じされた単票複写紙は、のり付け部分が下図のような給紙方向になるようにしてください。

印字推奨領域

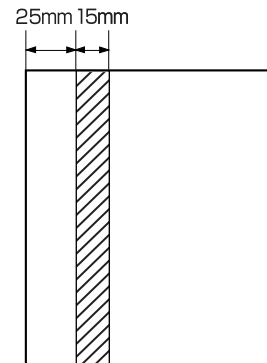
印字推奨領域内に印字することを推奨します。印字推奨領域外では印字されない場合があります。

単票紙

＊：プリンタドライバ使用時

＊：用紙長450mmまで印字できますが、297～450mmの範囲は、紙送り精度の保証ができません。

単票複写紙

＊：プリンタドライバ使用時

プレプリント紙の制限

- 本製品は紙幅検出用センサを搭載しています。印字面に反射率 60%未満の色（たとえば黒）で印刷されているプレプリント紙は紙幅が検出できないため使用できません。
- 下図斜線部に穴のある用紙は使用できません。下図斜線部にある穴も、反射率 60%未満の色とみなされますので、斜線部に穴のないプレプリント紙をご使用ください。

参考

- パンチ穴なども、光反射率 60%未満の色と同様となるため、制限領域への穴あけは避けてください。
- プレプリント紙や穴加工のある用紙は、大量に用意する前に、サンプルを使って印刷できることを確認してください。

給紙と排紙

!注意

印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、プリンタの［電源］スイッチを入れたまま用紙を引き抜かないでください。

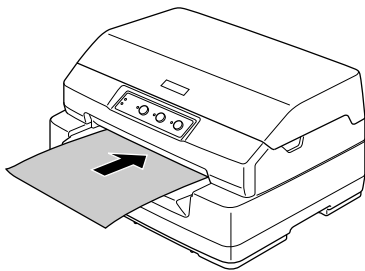
1 **プリンタの電源を入れます。**

2 **用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。**

用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

用紙は以下の点に注意してセットしてください。

- 印字面を上にしてセットすること
- 複写紙はのり付け部分を奥または横にしてセットすること

用紙の給紙が開始されたら、手を離してください。斜めに給紙される場合があります。

!注意

印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーが開くと、安全のために印刷を中断し、用紙を排紙します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じ、プリンタの電源を切って、約 5 秒後にプリンタの電源を入れてください。印刷が終了していない場合は、印刷データを送り直してください。

3 **印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。**

プリンタ内に用紙が残っている場合は、［F1/Eject］スイッチを押して排紙します。

以上で終了です。

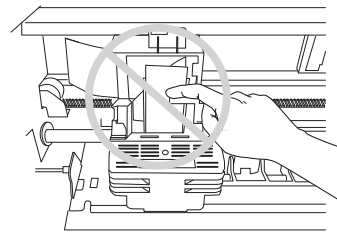
用紙が詰まったときは

用紙が詰まったときは、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

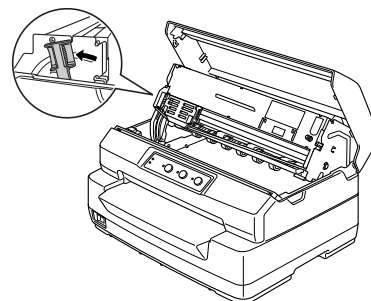
⚠注意

プリンタを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

!注意

用紙を取り除くときに、プリンタ内部の白いケーブルに触れないようにしてください。

1 **プリンタの電源を切ります。**

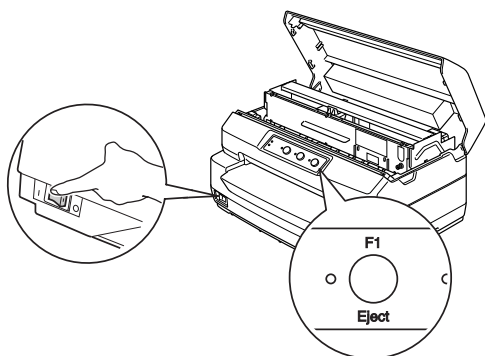
2 **プリンタカバーを開け、レリースレバーを奥側に倒して、印刷ユニットを上に押し上げます。**

レリースレバーはカチッと音がするまで倒してください。

3 **詰まっている用紙を両手で持ち、取り除きます。**

用紙が取り除けた場合は 6 へ、取り除けなかったりプリンタ内部に紙片が残ってしまった場合は 4 へ進みます。

4 **レリースレバーを前側に倒して印刷ユニットを元の位置に戻します。**

レリースレバーはカチッと音がするまで倒してください。

5 ［F1/Eject］スイッチを押したまま、プリンタの電源を入れます。

プリンタが用紙除去モードになり、給紙動作を開始できます。このモードでの［F1/Eject］および［F2］スイッチの機能は次のとおりです。

スイッチ	押す	数秒間押す
［F1/Eject］	1回押すたびに数行分、前方に紙送りします。	前方に排紙します。
［F2］	1回押すたびに数行分、後方に紙送りします。	後方に排紙します。

プリンタの電源を切り、7 へ進みます。

6 レリースレバーを前側に倒して印刷ユニットを元の位置に戻します。

レリースレバーはカチッと音がするまで倒してください。

7 プリンタカバーを閉じ、プリンタの電源を入れて、用紙をセットし直します。

用紙詰まりの予防

用紙のセット時は、以下の点に注意してください。

- 使用可能な用紙を使用してください。
  ☞ 本書 37 ページ「印刷できる用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。
  ☞ 本書 39 ページ「給紙と排紙」
- 用紙ガイドにセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。

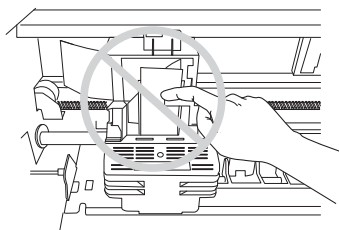
リボンカートリッジの交換

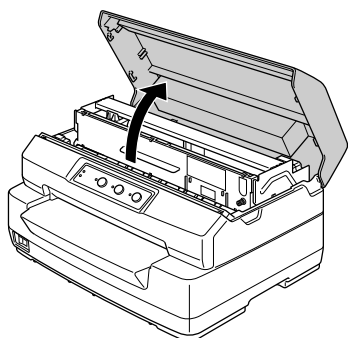
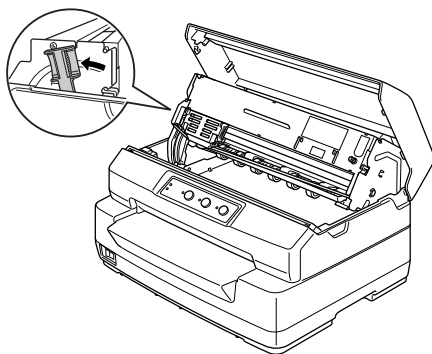
インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなったときは、リボンカートリッジを交換してください。

- リボンカートリッジは純正品（型番：PLQ20SRC（黒））のご使用をお勧めします。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。

⚠注意 プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

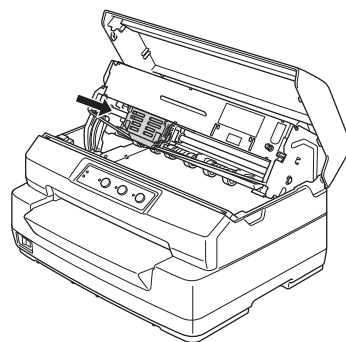
! 注意

- プリンタの電源を入れた状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源を切った状態で行ってください。
- リボンカートリッジ交換時は、プリンタ内部の白いケーブルに触れないでください。

以下の手順でリボンカートリッジを交換します。

1 **プリンタカバーの両端を持って開けます。**

2 **レリースレバーを奥側に倒して、印刷ユニットを上に押し上げます。レリースレバーはカチッと音がするまで倒してください。**

! 注意

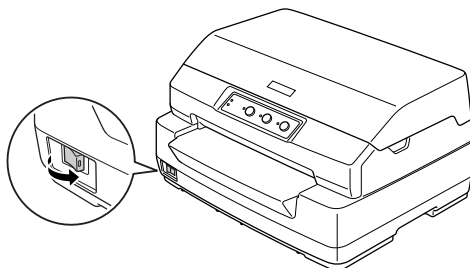
印刷ユニットが一度に下がらないように、リボンカートリッジに軽く手を添えてください。

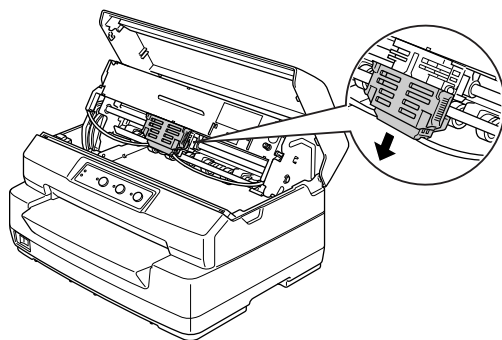
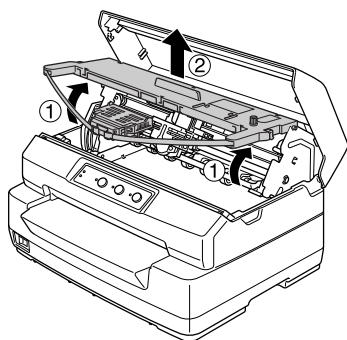
3 **プリントヘッドが図のような位置にあることを確認します。**

プリントヘッドが図の位置にないときは、レリースレバーを手前側に倒して印刷ユニットを元の位置に戻し、プリンタカバーを閉じてから電源を入れてください。プリンタカバーを開けると、プリントヘッドが自動的に移動します。

! 注意

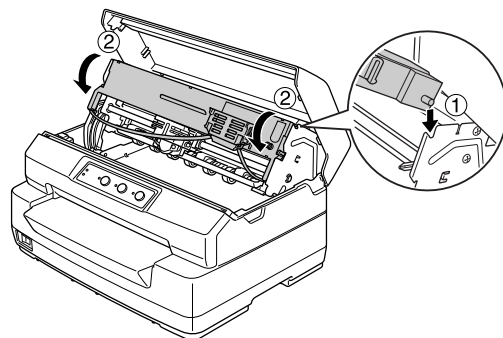
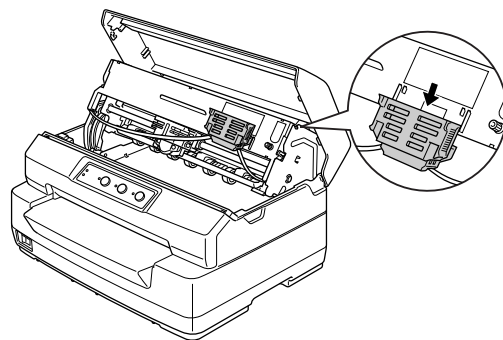
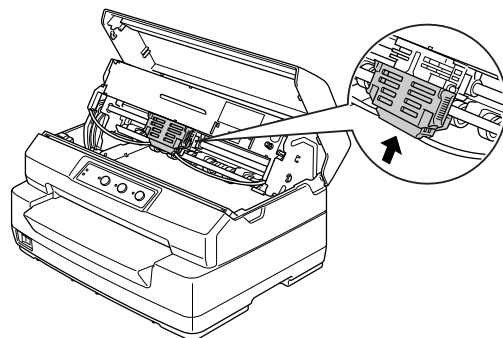
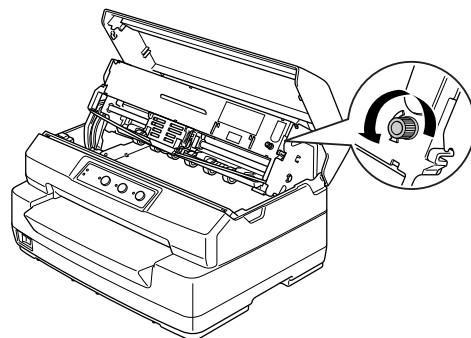
電源の切 / 入は、5 秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

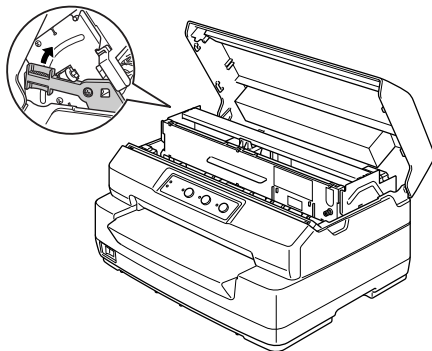
4 プリンタの電源を切ります。

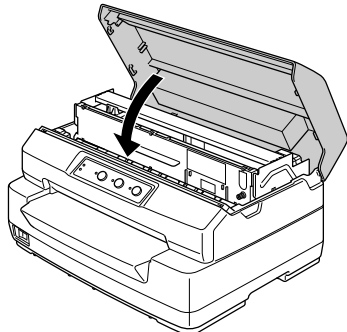
⚠注意

プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

5 リボンガイドの両端を持ち、下側に引き抜いてプリントヘッドから取り外します。

6 リボンカートリッジの両端を持ち、突起を軸にして回転させます。その後、上側に引き抜いてプリンタから取り外します。

7 新しいリボンカートリッジを袋から取り出します。

8 リボンカートリッジの突起をプリンタ両側の溝に合わせ、固定されるまで押し込みます。

カートリッジの両端を軽く押して、傾きやがたつきのないことを確認してください。

9 リボンガイドの両端を持ち、下側に引き抜いてリボンカートリッジから取り外します。

10 リボンガイドをプリントヘッドの下側からカチッと音がするまで押し上げます。

11 リボンカートリッジのツマミを回してリボンのたるみを取ります。

!注意
リボンがねじれたり、リボンに折り目が付いたりしないようにしてください。

12 **レリースレバーを手前側に倒して、印刷ユニットを元の位置に戻します。**

!注意
- 印刷ユニットは、 直接手で引っ張らずに、必ずレリースレバーで操作してください。
- レリースレバーはカチッと音がするまで確実に倒してください。確実に倒さないとプリンタカバーを閉じることができません。

13 **プリンタカバーを閉じます。**

以上で終了です。

参考
使用済みのリボンカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細はエプソンのホームページで確認してください。
http://www.epson.jp/recycle/
使用済みリボンカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用してください。
廃棄する場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

さらに詳しい情報とサービスのご案内

ここでは、本製品に同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されている『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）の紹介と使い方、弊社が提供しておりますサービス・サポートの概要を説明します。

PDF マニュアルの紹介と使い方

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）には、本書に掲載されていない以下のような情報が説明されています。

- プリンタを共有するための設定方法
- プリンタ接続先の追加や変更方法
- ソフトウェアの再インストールと削除方法
- 消耗品の情報
- 紙詰まりや印刷できないなど、困ったときの対処方法
- プリンタ本体の仕様

PDF マニュアルを開くには Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトウェアが必要です。Adobe Reader は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe Reader のバージョンは、アドビシステムズ社のホームページでご確認ください。

PDF マニュアルは以下の手順で開きます。

1 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2 ［電子マニュアルを見る］をクリックします。

3 ［PLQ20UG.pdf］をダブルクリックして開きます。または、ドラッグアンドドロップなどの機能でお好みのフォルダへコピーします。

各種サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートの概要は以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	☞ 本書裏表紙
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON *	エプソンの会員制情報提供サービスです。 「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップされることがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	☞ エプソンのホームページ
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書のPDFデータをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合は、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください（2013 年 3 月現在）。	☞ 本書裏表紙
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	☞ 次項「保守サービスのご案内」

*：「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。
「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）の「困ったときは」をよくお読みください。

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（本書裏表紙参照）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口へお問い合わせください。エプソンの修理窓口の連絡先は、本書裏表紙をご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th><th rowspan="2">お問い合わせ先</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先でサービスエンジニアが製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代・部品代 * が無償になるため予算化ができ便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
*：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td><td rowspan="3">サービスコールセンター</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。
• 修理のつど発生する修理代・部品代 * が無償になるため予算化ができ便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
*：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所にサービスエンジニアが出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>有償
（出張料のみ）</td><td>出張料＋技術料＋部品代
修理完了後そのつどお支払いください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込 / 送付修理</td><td>故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください。</td><td>エプソン
修理センター</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金＋修理代）</td><td>ドア to ドア
サービス受付電話</td></tr>
</table>

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応　：スポット出張修理に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単　：エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化　：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）
刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

著作権

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。
本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

EPSON　PLQ-20S　セットアップと使い方の概要編

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊ 修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070

・鳥取修理センター：0857-77-2202　・福岡修理センター：092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）受付電話**050-3155-7150**【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。

＊引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。

＊年末年始（12/30～1/3）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8088　【受付時間】月～金曜日9:00～12:00 / 13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8581へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	**http://myepson.jp/**	▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料0120-545-101）でお買い求めください。（2013年2月現在）

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（SIDM）　2013. 02